

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	開田高原ベジフェスタ「軽トラ市」
事業主体 (連絡先)	木曾町開田支所 木曾馬の里振興課 産業振興係長 中村 勝 TEL 0264-42-3331
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 イ. 農業振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード事業
総事業費	916,380円 (うち支援金: 695,000円)

事業内容

開田高原は「御嶽はくさい」や「とうもろこし」を中心とした高原野菜の生産が盛んであることから、この美味しい野菜を一人でも多くの人に知ってもらおうと、生産者自ら軽トラックの荷台で新鮮野菜の販売とPRを行った。

- ・8月～11月: 計5回開催 (8月のみ2回)
- ・軽トラック5台前後出店



【販売の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 朝採り新鮮野菜を生産者が直接販売することで、安心安全な開田高原野菜をPRできた。試食を通しての評価は高く、野菜本来の美味しさをアピールできた。
- ② 生産者の高齢化が課題となる中、軽トラの荷台を活用した効率的な販売手法が生産者の意欲向上に繋がった。
- ③ 支援金を活用して購入した「フード乾燥機」を利用して、夏野菜の販売を目指したが、天候不順で作業の手がまわらず秋野菜の試験乾燥を実施した。

【目標・ねらい】

- ① 開田高原野菜のブランド化
- ② 生産者の意欲向上
- ③ 地域の賑わい

※自己評価 【 B 】

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

生産者が主催する開田高原の恒例行事となるよう、参加者を増やしていきたい。また、高原野菜をさらにPRするため、乾燥野菜などに加工して年間通じて販売できるような仕組みを目指したい。

【理由】

- ・足を止めて手に取っていただき開田高原野菜の美味しさを知ってもらえたこと。
- ・軽トラの荷台で、対話を通じて生産者が楽しそうに販売していたこと。
- ・昨年も来場いただいた方が今年もおいでいただけた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある